

# アートする

コロラド川、  
遙か1

太古から続く地球の原風景が広がる「グランドサークル」。幾多にわたる地殻変動、そしてコロラド川が造り上げた奇跡の大地には、アリゾナとユタの州境にあるレイクパウエルを中心に、アメリカでも有数の景勝地が集中する。朱色の崖と呼ばれるパーミリオン・クリフス国立モニュメントもそのひとつだ。億単位の時を経た、人の想像を遙かに超える天然アートに出逢う旅へ。

# 大地

鈴木博美 = 文 Ryoichi Sato = 撮影  
Text by Hiromi Suzuki Photo by Ryoichi Sato





アンテロープ・キャニオンでは降り注ぐ太陽の光線が差し込む光の角度により岩の色がどんどん変化する。

グレン・キャニオンに豊かに水をたたえるレイクパウエルは、アリゾナ州からユタ州にまたがる一大リゾートだ。



## 奇観の大地

瑠璃色の夜明け前。太陽が地平線から顔を覗かせようとするとほんの一瞬、空と湖と大地をピンク色に染め上げた。「ここは地球なのだろうか」目の前に広がる光景が、現実から遊離したかのような特別な存在に思えてくる。遙か昔、海底だったこの一帯は、

地殻変動により、四〇〇〇万年前に地上に姿を現したという。その後、いくつもの時代を経た地層は、地殻変動による隆起と沈下、更には風雨と川による浸食を繰り返して、世界に比類のない奇観の大地を残すに至った。

それが、アメリカ大自然の代名詞「グランドサークル」だ。その大きさはユタ州南部からアリゾナ州北東部、コロラド州南西部、そしてニューメキシコ州北西部にまたがる約三九万平方キロメートル。この広大な大地に、グランド・キャニオンを筆頭に三〇もの国立公園と国立モニュメント、そして四〇を超える州立公園が点在する。

ここレイクパウエルは、そんなグランドサークルのほぼ中央に位置し、太古から続く自然に人の叡智を加えて造り上げた国立レクリエーションエリアだ。一九六〇年代、ロッキー山脈を源とするコロラド川にグレン・キャニオン・ダムを建設、その際に貯水用に造られたのがレイクパウエルである。全長約三〇〇キロ、湖岸線は三一〇キロにも及ぶ巨大な人造湖は、荒涼とした自然美が続くグランドサークルの中で唯一、水をたたえたオアシス的な趣がある。またグランドサークルのほぼ中央という立地は、モニュメント・バレーやブライス・キャニオンなどを巡るに

は最適な場所となる。特にダム建設の折に誕生したベイジの町の近くに位置する、観光客に人気のスポット、アンテロープ・キャニオンへも車で三〇分ほど。全長一五〇メートルほどの峡谷内の、雷雨時に発生した鉄砲水が大地を削り取った赤い回廊は、神秘的なため息が出るほどの美しさだ。また天井の亀裂から差し込む光によって壁に描かれる影絵は、時間帯によってコンドルや人の横顔などに見える。この一帯はネイティブ・アメリカンのナバホ族の居留地である。彼らは遠い昔からそんな自然を、母なる大地を敬い、ここは様々なインスピレーションを受ける特別な場所なのだ、案内をしてくれたナバホ族出身の若者が話していた。彼らは「古より自然と対峙し、大地に広がる特異な景観に畏敬の念を払ってきた。そんな自然美がグランドサークルには無数に存在する。」

## 屋根のない美術館

レイクパウエルから国道八九号線を西へと車で走ると、断続的に朱色の崖が見えてくる。パーミリオン・クリフス国立モニュメントだ。東京・三区の二倍にも及ぶ台

グレン・キャニオン・ダム建設の際にできた町ベイジの近郊には様々な絶景ポイント、国立公園・国立モニュメントなどが多く点在し、観光の拠点都市となっている。また、ナバホ族居留地にも近いことから、ネイティブ・アメリカン・アートやジュエリーなどのショッピングも楽しめる。



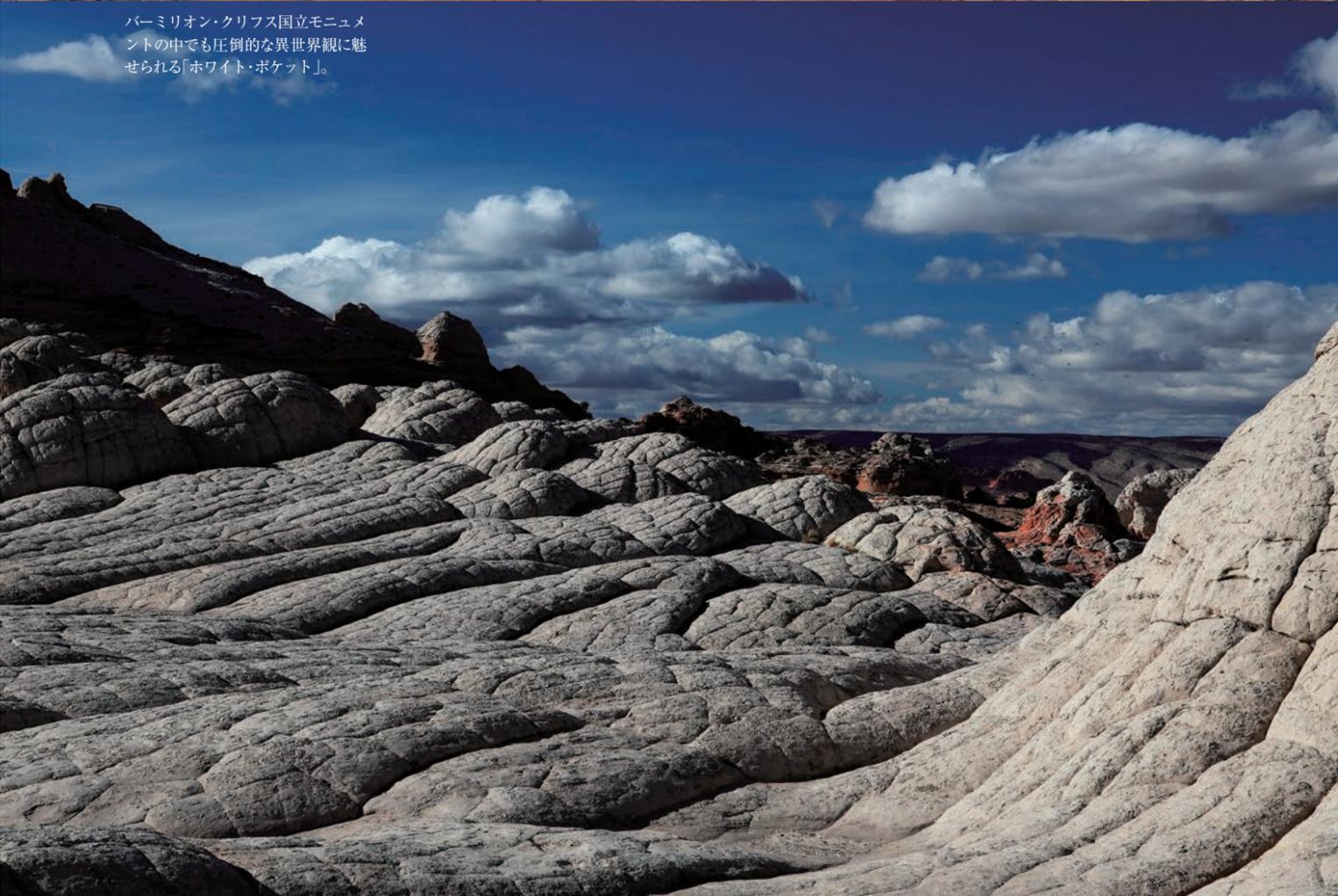
コロラド川、  
遙か1

AGORA Special  
The Art of Landscape



カラフルな地層が走る景観がユニークなサウス・コヨーテ・ビュード。入場制限があるため事前の許可が必要だ(www.blm.gov/az/paria/)。

パーミリオン・クリフ国立モニュメントの中でも圧倒的な異世界観に魅せられる「ホワイト・ポケット」。



地に多様な景観が点在する、グラ  
ンドサークルの中でも特異な地域  
である。しかし周辺のモニユメン  
ト・パレーやブライス・キャニオン  
といった世界的に有名な公園の陰  
に隠れ、その存在は、ほとんど知ら  
れていない。最近、日本でも幾つ  
かのテレビ番組内で放映された波  
打つ地形の「ザ・ウェーブ」のあ  
る場所だと聞けば、ピンとくる人  
もいるのではないだろうか。

「帯は、連邦土地管理局(BLM)  
が、自然保護だけを目的として管  
理しているため、国立公園とは違  
い観光的な施設もなければレンジ  
ヤーもない。個人で訪れること  
は可能だが、全ては自己責任のも  
と、GPSと飲食の準備は必須だ。  
また道と呼び難い悪路ゆえに四  
輪駆動の車でなければ到着さえ難  
しい。そんな難関が今まで知られ  
てこなかった要因のひとつといえ  
るだろう。しかし最近では、連邦  
土地管理局から許可を得ているガ  
イドが同行するツアーもあり、  
徐々に注目を集めている。今回案  
内してくれたイェルモ氏はプエ  
ブロ族の血を引く、連邦土地管理  
局の公認ガイド。考古学と地質学  
に詳しくジュエリーアーティスト  
でもある、マルチな才能を持つ人  
物だ。

イェルモ氏と共にまだ見ぬ世界  
へと出発した。八九号線の舗装路

を外れ、悪路を走ること四〇分。  
パーキングポイントに車を止め、  
更に四〇分ほど豪雨時に雨水が川  
となって流れた跡地を歩くと、深  
紅の岩山の中央部分に亀裂が走る  
ワイヤーパスと呼ばれるスロット  
(峡谷)が見えてきた。亀裂の中へ  
と進む。アンテロープ・キャニオ  
ンは滑らかな曲線が女性的なのに  
対し、こちらは荒々しく削り取ら  
れ男性的だ。雷雨時に鉄砲水で流  
されてきた、行く手を遮る流木を  
またいだりくぐったりと、探検家  
にでもなった気分が進んで行く。  
ワイヤーパス自体は、それほど長  
くはないが、途中から約四〇キロ  
にも及ぶバックスキン・ガルチと  
呼ばれる別のスロットと合流する。  
更にその先に続くスロットを踏破  
する場合、最低でも四泊五日の日  
程が必要になるという。そのあま  
りのスケールの大きさに改めて、  
自然が創造する力の大きさを知ら  
しめられた。しかし、これはまだ  
序章だった。

車で更に奥部へと走らせること  
約一時間三〇分。目の前には今ま  
で見たこともない地球の造形が広  
がっていた。ホワイト・ポケット  
は、今から一億九〇〇〇万年前の  
ジュラ紀、一帯はナバホ砂岩に覆  
われた巨大な砂漠地帯だった。そ  
の大きさはサハラ砂漠を凌ぐとも  
いわれている。ナバホ砂岩が長い

コロラド川、  
遙か1 AGORA Special  
The Art of Landscape



最近ガイドが同  
行するツアーも。  
BLM公認ガイドの  
イェルモ氏(右)。

年月を経て化石化し、更に風雨に  
よって表面が削り取られた景観で  
ある。上空から見ると、ここだけ  
が白く窪んで見えることからホワ  
イト・ポケットの名が付けられた。  
ナバホ砂岩が織り成す奇妙な景観  
は、訪れる人を圧倒させる。プレ  
インロックは、地表にしみでた地  
下水が砂岩を白く退色させ、更に  
強い日差しと乾いた空気によって  
表面にひびが入り、「脳」のよう  
なフォーメーションを形成してい  
る。またポルテックスと呼ばれる、

雨水が渦巻くように流れるさまが  
そのまま地表に描かれた岩など、  
実に様々だ。場所によっては、そ  
れらが個々に存在感を示し、また  
別の場所では交ざりあってひとつ  
の生き物のようにも見えてくる。  
人智の及ばない自然の強大なエネ  
ルギーによってできた芸術作品に  
シヨックにも近い刺激を受ける。  
「僕はここでたくさんのインスピ  
レーションをもらうんだよ。パー  
ミリオン・クリフスは想像力を養  
う場であり、遊び場であり、オフイ

想像を超える世界が広がるパーミ  
リオン・クリフ国立モニュメント。

